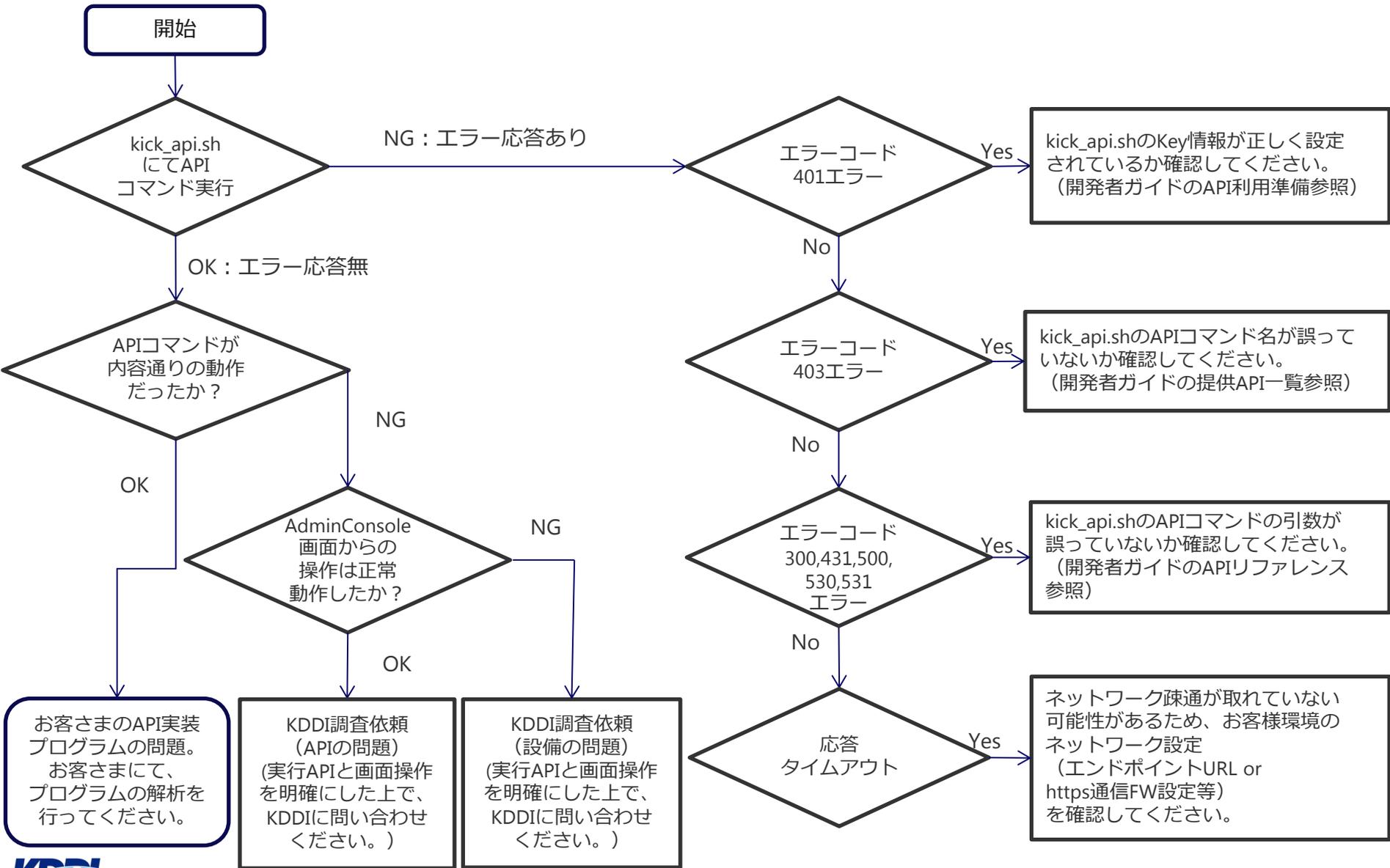


KCPS2 API切り分けについて



KDDI
Ver1.0

API実行時の確認フロー



エラーコードの例

■ インスタンス起動APIの実行

1) API発行する端末より以下APIコマンドを実行する~正常の場合

```
$ ./kick_api.sh command=startVirtualMachine id=<uuid>
```

~正常値の場合：実行結果~

```
id = <uuid>
```

SEND URL:

```
https://<URL:PORT>/client/api?command=startVirtualMachine&id=<uuid>&apikey=<APIkey>&signature=xTff5SUN8KgIgmT678ba0tW3z%2Fo%3D
```

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>  
<startvirtualmachineresponse cloud-stack-version="4.3.0.2">  
  <jobid>3d9ebfa2-7e01-42bf-9c79-7d79af02210b</jobid>  
  ★JOB_IDが発行されている  
</startvirtualmachineresponse>
```

2) API発行する端末より以下APIコマンドを実行する~Errorコード401の場合

```
$ ./kick_api.sh command=startVirtualMachine id=<uuid>
```

~Error値の場合：実行結果~

SEND URL:

```
https://<URL:PORT>/client/api?command=startVirtualMachine&id=<uuid>&apikey=<APIkey>&signature=EuW23gOc4fZ3kuQlUjGdL1bcFz4%3D  
★APIキーが間違っている
```

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>  
<startvirtualmachineresponse cloud-stack-version="4.3.0.2">  
  <cserrorcode>400</cserrorcode>  
  <errorcode>401</errorcode>  
  <errortext>Unable to verify user credentials and/or request signature.</errortext>  
</startvirtualmachineresponse>
```

※APIでのErrorの場合JOB_IDは発行されません。必ず引数とAPI文字が合っているかご確認ください。

正しいJOBが発行されたとしても、JOBの経過は「queryAsyncJobResult」「queryExAsyncJobResult」のAPIでご確認ください。

エラーコードの例

3) API発行する端末より以下APIコマンドを実行する~Error]ト`403の場合

```
./kick_api.sh command=startVirtualMachin id=<uuid>
```

★Command文字が間違っている

~Error値の場合：実行結果~

SEND URL: https://<URL:PORT>/client/api?command=startVM&id=<uuid>&apikey=<APIkey>&signature=BVuAthfKlrl8nbaSQ37yvXWW%2FZY%3D

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<errorresponse>
<errorcode>403</errorcode>
<errortext> Forbidden </errortext>
</errorresponse>
```

4) API発行する端末より以下APIコマンドを実行する~Error]ト`500の場合

```
./kick_api.sh command=deployPremiumVirtualMachine name=test hypervisor=VMware zoneid=<zoneid> templateid=<templateid>
serviceofferingid=<serviceofferingid> hostname=kc2-west01-Losv-000031 iptonetworklist[0].networkid=<networkid>
```

★引数が間違っている（「jp2」とすべきところを「kc2」とタイプミス）

~Error値の場合：実行結果~

SEND URL:

https://<URL:PORT>/client/api?command=deployPremiumVirtualMachine&i=<uuid>&apikey=<APIkey>&signature=Hbu4HGfr0Oskx1LaEpFJI4%3D

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<deploypremiumvirtualmachineresponse cloud-stack-version="4.3.0.2">
<cserrorcode>400</cserrorcode>
<errorcode>500</errorcode>
<errortext>The Host you specified could not be found.</errortext>
</deploypremiumvirtualmachineresponse>
```

エラーコードの例

5) API発行する端末より以下APIコマンドを実行する~応答タイムアウトErrorの場合

```
./kick_api.sh command=startVirtualMachine id=<uuid>
```

~Error値の場合：実行結果~

★APIに指定しているアドレスが違う

SEND URL:

<https://<URL:PORT>/client/api?command=startVirtualMachine&id=<uuid>&apikey=<APIkey>&signature=xTff5SUN8KglgMt678ba0tW3z%2Fo%3D>

curl: (7) couldn't connect to host

※APIでのErrorの場合JOB_IDは発行されません。必ず引数とAPI文字が合っているかご確認ください。

正しいJOBが発行されたとしても、JOBの経過は「queryAsyncJobResult」「queryExAsyncJobResult」のAPIでご確認ください。

切り分けた結果KDDI問合せとなった場合の連絡先

《KDDI クラウドプラットフォームサービス(KCPS)の故障・お問い合わせ窓口》

お問い合わせはAdmin Console(<https://admin.cloud-platform.kddi.ne.jp/>)ログイン直後の画面上部にある「サポート」のWEB問合せフォームよりお問合せください。

お問い合わせの際は、下記の情報をお伝え下さい。

- ・ご利用サービス名 (=KDDI クラウドプラットフォームサービス)
- ・サーバ契約番号 (Mで始まる9桁の番号)
- ・KDDI WVS回線番号 (拠点側WVSご利用の場合)

KDDI WVS以外のVPNサービス拠点からのご利用の場合は、

当該VPNサービスの回線番号をお伝え下さい。

回線側の故障が明確な場合は（お客さま拠点の全端末通信不能など）、
早急な復旧対応のため、回線側の問合せ先にご連絡下さい。

※故障箇所がご不明の場合は、

上記「KDDI クラウドプラットフォームサービス(KCPS)故障・お問い合わせ窓口」までご連絡ください。

下記オペレーションにおいて、1時間以上経過後も終了しない場合は窓口にご連絡をお願いします。

- ・スナップショットからのボリューム・テンプレート作成
- ・ボリュームからのテンプレート作成
- ・テンプレートからのインスタンス作成
- ・インスタンスへのボリュームアタッチ